

企業会員募集

産学連携による産業人材育成のサステナブルな地域システム創り

企業会員とは

ものづくりのまち—北九州の確かな成長を支える「産業人材育成」の必要性を理解し、自社の人材育成と合わせて、地域の産業人材育成を協働して行う「北九州地域産業人材育成フォーラム」を支える企業です。

企業会員の募集

- 対象者 北九州市及び近隣市町の製造業等
- 負担金 年会費 30,000円
- 会員数 目標 200社

企業会員の役割

フォーラムは、ステークホルダーである大学・企業・学生・技術者等が事業に参画し、事業を活用することによって成立します。

- フォーラムの運営理念を理解し、フォーラムの事業を協働し、フォーラムの発展に尽くすこと。
- 地域の産業人材育成について、リーダーシップを発揮すること。
- フォーラムの持続的発展のために運営費を分担すること。

企業会員のメリット

フォーラム事業の活用

1 企業の認知度・社会的評価の向上

フォーラム事業を通じて多面的に大学、行政、産業界との交流が可能となり、認知度の向上、社会的評価の向上機会に恵まれます。

2 インターンシップ事業の活用

インターンシップを通じて、企業の認知度を高め、新卒学生採用者の採用可能性の向上等、採用環境の開発が出来ます。毎年、学生募集ツールに企業会員の企業情報を掲載し、インターンシップ対象学生（連携大学の2年/3年学部生、修士）に周知します。

実践型インターンシップ（研究型・課題解決型）を通じて、自社の課題解決、従業員のモチベーションの向上が期待されます。

3 社会人プログラム事業の活用

ドクターチャレンジプログラム、テクニカルカレッジ等の活用により技術者のリカレント、スキルアップ教育機会を得て、人材力の向上と大学との実践的な関係づくりが出来ます。

フォーラムの各種イベントの活用

●産業人材育成に関する専門的なセミナー講演会等の活用が可能です。

地域大学との連携・関係強化

●大学関連行事への参加、研究者との交流、技術相談機会の開拓など、大学との連携の環境が構築できます。

多様な情報の受発信

●関係機関の各種情報の活用及び企業情報の発信、また企業PR機会の活用など、情報の受発信の環境が広がります。

●フォーラム参加大学（地元理工系5大学）の学生がアクセスするフォーラムのHPに企業情報の掲載と企業HPのリンクが出来ます。



中堅・中小企業の人材育成による
地域力強化・次世代のものづくり人材の育成

Kitakyushu Forum

for Development of Human resources and Industries

北九州地域産業人材育成フォーラムのご案内

お問合せ先



北九州地域産業人材育成フォーラム

Kitakyushu Forum for Development of Human resources and Industries

事務局 (公財) 北九州活性化協議会内

北九州市小倉北区古船場町1-35 Mail: info-jinzai@kpec.or.jp

TEL 093-541-3122 / FAX 093-541-0636

〈フォーラムHP〉

<http://www.kpec.or.jp/jinzai/>

〈インターンシップ情報サイト〉

https://www.kpec.or.jp/jinzai/_internship/

北九州地域産業人材育成フォーラム事業の目的

- 1 産学官民の連携による 新しい産業人材育成の持続型地域システムの構築
- 2 地域産業の成長の原単位である 中堅・中小企業の経営力(人材力)の強化
- 3 北九州市の都市戦略として 地方創生(産業政策)の実践モデルの創発



都市の産業基盤である中堅・中小企業の経営力強化のために、産業人材育成の持続的な仕組みづくりを地域一丸(産学官協働)となって推進

北九州地域産業人材育成フォーラムの事業構成

中堅・中小企業の人材育成による地域力強化・次世代のものづくり人材の育成



高度人材育成プログラム

- 地域連携型インターンシップ事業
- 学生のための北九州地域企業研究・交流
- 地域連携インターンシップビジネスモデルの構築

青少年育成プログラム

- 北九州地域における科学・工学教育情報提供
- 「北九州の企業人による小学校応援団」との連携

社会人育成プログラム

- 北九州ドクターチャレンジ事業
- 北九州テクニカルカレッジ事業

中堅・
中小企業

人材の強化
ブランディング推進

雇用機会の創出
企業と大学の連携・交流の促進

ものづくり立国の基本条件を守り、
世界で競争できる産業の基盤づくりを目指す

社会人プログラムのご案内

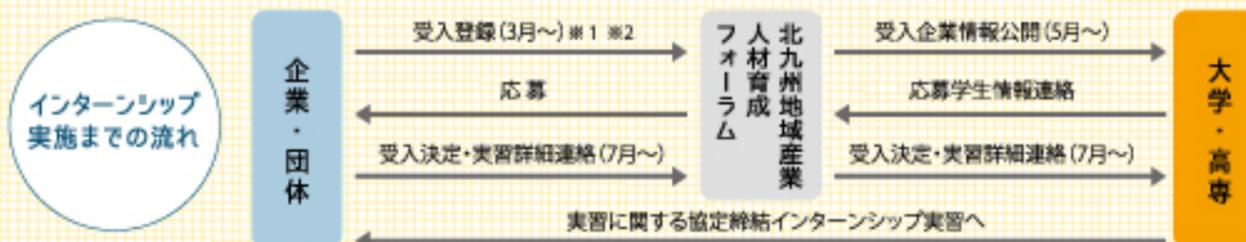
中核技術人材等の育成

▶ 技術力強化とスキル向上に有効な教育プログラムの活用促進のための支援

- ① ドクターチャレンジプログラム: 九工大大学院及び北九大国際環境工学部大学院の「長期履修制度」
- ② テクニカルカレッジプログラム: 教育・研究及び技術上の専門知識に基づく助言及び講習等を行う九工大の「学術コンサルティング制度」

高度人材育成プログラム「地域連携型インターンシップ」学生受入のお願い

産業人材育成フォーラムが実施する「地域連携型インターンシップ」は、地元北九州及びその周辺地域の中堅・中小企業と地元工学系大学が一体となって実施しています。企業と学生そして地域と大学をつなぎ、新しい形での地域創生を目指す他に例のない全く新しい人材育成と活用の取り組みです。



- 対象学生
- 九州工業大学(全学部・専攻): 学部1~3年生、大学院1年生
 - 北九州市立大学(国際環境工学部・研究科): 学部1~3年生、大学院1年生
 - 北九州工業高等専門学校(全コース・専攻科): 本科4年生、専攻科1年生
 - 産業医科大学(産業保健学部環境マネジメント学科): 学部2~3年生
 - 早稲田大学(大学院情報生産システム研究科): 大学院1年生

※1 専用フォーマットに実施内容等をご記入いただき、ご登録。各種書式はWEBからダウンロード、もしくは電子メールにてご案内致しますので、事務届までお問合せください

※2 登録レポートをコーディネーター(NPO法人北九州テクノリポート)が担当し、企業情報をより正確に発信いたします

研修型(短期)インターンシップ

Short-term internship

ねらい ▶ 大学から職場・社会への円滑な移行の確保
(仕事理解/採用誘発)

	月	火	水	木	金
午前 8:30~12:00					
昼休み	5~10日間 (終日、連続して実施)				
午後 13:00~17:30					

【時期】 概ね8月中旬~9月下旬の夏期休暇中

【期間】 1~2週間(終日)

【形態】 無給

- 会社説明・工場見学・現場実習・先輩社員との懇談など

参加学生の声

● このインターンシップを通じて自分の将来の進路の選択肢の幅が広がった。今までは、就職するのならば大企業にしたいという願望が強かったが、このインターンシップで中小企業のやりがいや強さを強く感じることができたという魅力を感じ、様々な観点で進路を決めるべきということを強く感じた。また、他に自分の知らないような企業が存在しているのかといった興味をもつきっかけを作ってくれた貴重な体験をすることができた。

● 今回、就職活動の幅を広げたいと考え、自身の専攻ではない分野のインターンシップに参加しました。最初は未知の領域だったため緊張しましたが、社員の方々が親身になって教えて下さり、すぐに作業に取り組みすることができました。就きたい業界でないインターンシップでも参加してみるべきだと感じました。今の時点で進路を決め、その他の分野は自分に関係ないと思ってしまうのではなく、インターンシップなどを通して、一度触れてみるのが重要だと感じました。

実践型(長期)インターンシップ

Long-term internship

ねらい ▶ 将来の産業界を担う若者の育成
(事業参画/課題解決/研究協働)

	月	火	水	木	金
午前 8:30~12:00		授業	授業	授業	
昼休み	週に1~2日間 (調整が可能であれば、半日~2日間)				
午後 13:00~17:30		授業	授業	授業	

【時期】 概ね8月中旬~ ※学生と調整のうえ決定

【期間】 約3~6ヶ月

【形態】 ステップ① 数日~1ヵ月程度の研修(無給)

- 会社説明・工場見学・現場実習・先輩社員との懇談など
- ステップ② 約2~5ヵ月程度の実務(有給)
- 授業の履修状況をふまえ、週1~2日程度の勤務
- 有給での研修
- 企業の一員として課題発見・解決の業務に取組む

参加企業の声

● インターンシップという短期間ではありますが、学生さんとともに働き、意見交換やミーティング(社内外問わず)を実施することで、社内の士気も向上し、新たなアイデアに繋がっていると感じております。今後も、機会があればぜひインターンシップを実施していきたいと考えています。

● 近年、インターンシップを取り巻く環境が変化し、「就職活動の一部」として参加する学生が多いため、企業としてもコンテンツの見直しなど必要であると感じております。インターンシップ本来の目的を大事にしながらも、学生の満足度を高めることができるプログラムを検討したいと思います。

経営・管理者の経営課題解決および経営力強化

▶ 地域企業の経営課題解決および経営力強化の支援 ※①と②は北九大大学院マネジメント研究科(以下「K2BS」と連携)

- ① K2BSの経営者の養成機能を活用したMBA活用プログラム「MBAサテライトフォーラム」
- ② ケースメソッドによる実践的経営学講座(車座型)の企画・実施
- ③ 企業の経営管理者向け「自社の魅力認識講座」の企画・実施